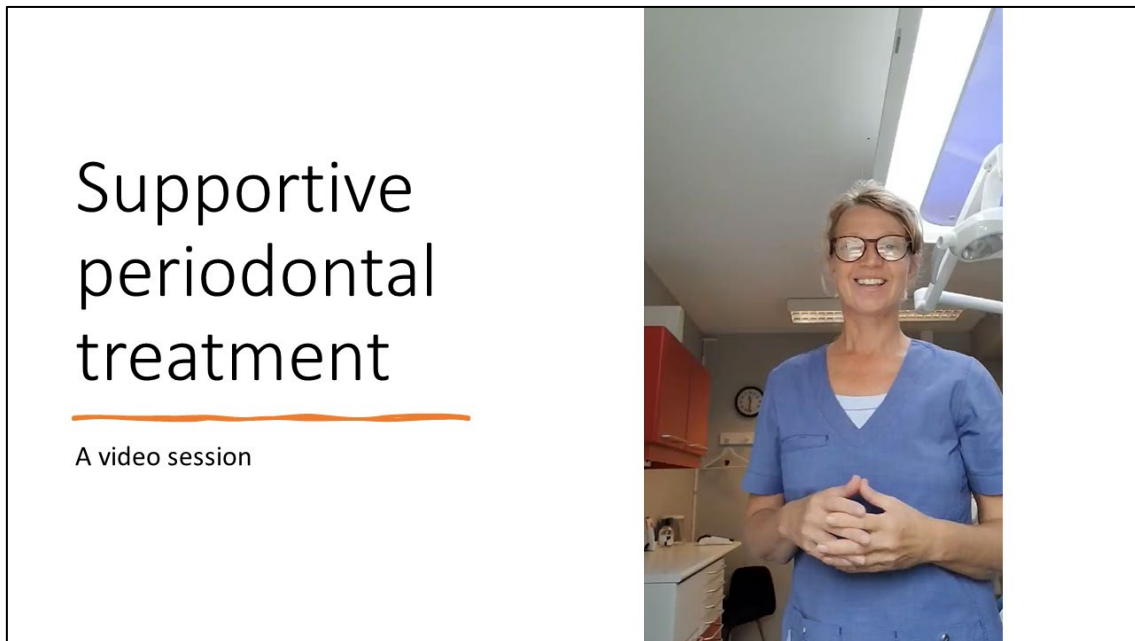


マルメ大学歯科衛生士が教えるワークスタイルセミナー

SPT

テキスト



こんにちは。ビデオセッションによろこそ。

4ヶ月ごとの SPT で来院した歯周炎症例のメンテナンスの様子を供覧します。



患者さんは、こちらの 63 歳の男性です。
 薬の服用、喫煙、う蝕活動性もない健康な方です。
 当院への初診は 2016 年です。
 歯科恐怖症のために 25 年間歯科医療を受けていませんでした。
 特に大臼歯に深いポケットがあり、歯列全体に出血が認められました。
 また、縁上及び縁下に多くの歯石がありました。
 口腔衛生は問題は無いものの、改善が必要でした。
 右上 8 番、右下 6 番、左下 7 番は抜歯が必要と思われました。
 ご覧のように、かなり深いポケットが多数ありました。
 残念ながら出血も分岐部病変も記録されていません。
 当時、新人の衛生士が最初に担当し、
 ポケットの記録だけで精一杯だったようです。
 当時受けた非外科的治療は、局麻下での 1/4 顎ごとのスケーリングでした。
 口腔衛生指導を徹底し、病因や治療についての教育もなされました。
 細菌をコントロールし易いように毎回研磨を行ってきました。
 電動歯ブラシや歯間ブラシの使い方を習得し、
 現在はコンプライアンスも良好で、高いレベルの口腔衛生を保っています。
 2 年前、左上 6 番の歯周外科治療のために他院に紹介され、好結果を得ました。
 1 回で全顎スケーリングを行って抗生物質を併用したこともあります。



初診時の X 線写真です。

水平性骨欠損に加え、骨縁下欠損がいくつか認められます。

また、上顎大臼歯に分岐部病変があります。

歯根長の約 2/3 の位置まで骨喪失が認められます。

初期治療後、保存不能な右上8番と右下6番を抜歯しました。

当初抜歯と判断された左下7番は保存できました。

下顎は病的歯周ポケットがなくなりました。

上顎大臼歯にはまだ疾患の徴候が認められます。

III 度の分岐部病変を有する上顎大臼歯は、治療困難なため長期予後が不良です。

右上6番と7番の歯周外科治療を検討中で、年末に患者さんと相談する予定です。

Today's supportive treatment

- Plaque control
- Screening for BoP and calculus
- Scaling/debridement
- Reinforced oral hygiene instructions
- Polishing/airflow
- Information on today's status and motivation to keep up the good job

Next visit; Therapy discussion with the dentist on status, prognosis and additional treatment options.



これが今日の SPT の計画です。

プラークコントロールから開始し、口腔衛生状態をチェックします。

次に BOP と歯石のスクリーニングを行います。

スケーリングとデブライドメントは、今日は主に EMS の超音波で行い、必要に応じてハンドで補います。

いつも通り口腔衛生指導を強化し、その後、エアフローで研磨します。

帰宅前に、口腔内の状態に関する最新情報を提供し、励まします。

次回は、経過や予後、上顎大臼歯の追加治療の選択肢について、歯科医師と話し合います。

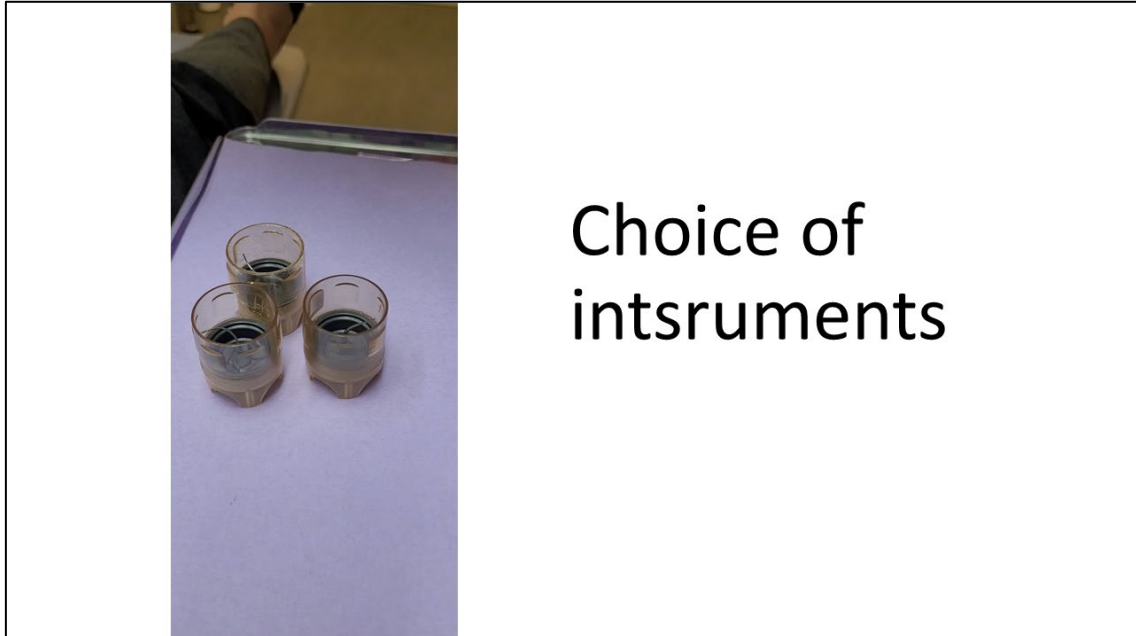
これを年 1 回行っています。

経過や現状を話し合うことで、患者さんに積極的に治療に参加してもらうためです。

Plaque screening



まずは、染め出してプラークスコア (PI) をチェックします。
プラークの検出には隣接面が重要ですから、歯間部へ押し当てます。
水で洗口後、残存プラークをチェックします。
このように、大臼歯は非常にきれいです。
よく磨けています。
前歯部は歯肉縁付近に少しプラークがあります。
反対側の大臼歯も大変きれいです。
口蓋側もチェックします。
下顎前歯部もきれいです。
後で計算しますが、PIは20%以下と言って間違いないでしょう。
私としても大変嬉しいです。



では、スケーリングを始めます。EMS の超音波スケーラーを使います。

出血のあるポケットや分岐部をスケーリングします。

細いペリオチップとファーケーションチップを使います。

分岐部にうまく到達するように湾曲しています。

手用器具のセットもあります。

縁上歯石の検出や、EMS のチップでは届かない部位に用います。

私の標準トレーには、残存歯石探知用の非常に細いプローブが入っています。

非常に感度の高いツールで、粗造なスポットを検出できます。

近心用と遠心用。

ファーケーションプローブ、その右はシッケル。

マイクロ・シッケルスケーラーで、刃が小さく、狭い部位にも到達し易くなっています。

今日は分岐部病変がある患者さんなので、ファーケーターを用意しています。

分岐部の歯石除去に使い易い器具です。

コンキャビティ・ファイルもあります。

ダイヤモンドチップなので、分岐部の粗面の滑沢化に適したツールです。

歯周病症例用トレーに加えておくとよい器具が他にも数本あります。

Probing, scaling & rootplaning



左上から始めましょう。

この分岐部に出血が認められます。

6番の遠心に 6mm のポケットがあります。

このポケットからスケーリングを始めます。ペリオチップを使用しています。

チップを傷めないよう、周波数を最大まで上げないことが重要です。

あまり歯石が付いていないこともわかっていますので、30%に抑えています。

そして、感度の高い「フレックスプローラー」を使って遠心の根面の凹凸を触知します。

次に、遠心用のグレーシー 13/14 を使用し、

触知した沈着物を優しく除去します。

根面の損傷を極力抑えたいので、できるだけ優しい力で行います。

次にチップを交換し、ファーケーションチップを取り付けます。

このように少し湾曲しています。

この遠心の分岐部から始めます。

7番の遠心も分岐部病変があるので、このチップを使いました。

次は、頬側分岐部に到達できるよう、反対方向に湾曲したチップに替えます。

プローブで確認します。

次いでファイルを使用。

滑らかな感触です。

次に、5番のポケットをチェックします。

軽い出血があります。

ここに少し出血があります。

前歯部に歯石が少しあるので、マイクロ・シクルスケーラーで除去します。

Airflow with erythritol powder



次のステップは研磨です。エアフローを用います。

実際、私は歯周病症例にはエアフローを好んで用いています。

歯肉縁や露出根面、また、狭い分岐部や歯間部へのアクセスに優れているからです。

根面に優しい低圧設定にすることが重要です。

もちろんエリスリトールパウダーを用います。

本装置はタバコによるステインにも有効です。

下顎切歯に付着した柔らかい歯石も除去できることがあります。



Oral hygiene instructions & motivation

- Oscillating electric toothbrush with a soft head
- Interdental brushes, 4 different sizes
- Also for buccal side of furcations on upper molars
- If bleeding, be more thorough and add a Chlorhexidine gel
- Information on progress, positive feedback, understanding of disease and management.

Next visit for supportive
treatment in 4 months!



本症例の口腔衛生状態は大変良好ですが、来院の度に口腔衛生を強調することが大切と考えます。

今日は上顎切歯の歯肉縁に少しプラークが付いていました。

その対策として、ブラシをもう少し上に、歯肉縁の方に位置付ける必要があります。

歯面を磨こうとして、ブラシの位置が低くなり過ぎる傾向が多くの人に見られます。

振動式電動歯ブラシを使っていますので、ソフトブラシヘッドを用いることが大事です。

歯周病の患者さんは口腔衛生が徹底している分、ソフトブラシを使って歯肉を守る必要があると説明します。

彼は歯間ブラシも毎日4種類のサイズを使い分けています。

おそらくそれが上限で、5種類以上になると、持て余し、継続が困難になるでしょう。

もう無理と感じてやめてしまう恐れがあります。

また、最小サイズの歯間ブラシを分岐部に使っています。

上顎大臼歯の頬側から挿入して清掃します。

出血を見つけたら、それは炎症のサインなので、口腔衛生をより徹底するよう指導しています。

歯間ブラシにクロルヘキシジンジェルを付けて使用すれば、細菌をコントロールできます。

動機づけが不可欠です。

ポジティブ・フィードバックによりモチベーションを高めれば、コンプライアンスの達成ははるかに容易になります。

加えて、自らの疾患とその管理のし方を理解できるよう、情報提供が重要と考えます。

次回の来院は4ヶ月後です。患者さんも私も楽しみにしています！